



# 平成31年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年8月10日

上場会社名 堀田丸正株式会社

上場取引所 東

コード番号 8105 URL <http://www.pearly-marusho.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大西 雅美

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 (氏名) 矢部 和秀

TEL 03-3548-8139

四半期報告書提出予定日 平成30年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (平成30年8月13日開催予定 機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成31年3月期第1四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年6月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第1四半期	1,664	△1.9	△27	—	△15	—	△22	—
30年3月期第1四半期	1,696	△2.2	△8	—	△20	—	△26	—

(注)包括利益 31年3月期第1四半期 △28百万円 (—%) 30年3月期第1四半期 △18百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第1四半期	△0.41	—
30年3月期第1四半期	△1.18	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第1四半期	6,045	4,702	77.8	83.60
30年3月期	6,360	4,750	74.7	84.46

(参考)自己資本 31年3月期第1四半期 4,702百万円 30年3月期 4,750百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	0.00	—	0.35	0.35
31年3月期	—	—	—	—	—
31年3月期(予想)	—	0.00	—	0.25	0.25

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,346	△4.6	100	46.4	103	81.7	70	△30.3	1.24

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期1Q	59,640,348 株	30年3月期	59,640,348 株
② 期末自己株式数	31年3月期1Q	3,395,818 株	30年3月期	3,395,818 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期1Q	56,244,530 株	30年3月期1Q	22,398,745 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(追加情報) .....	7
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続かなか個人消費の持ち直しの動きがみられるなど、緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、異常気象など地政学的リスクや中国をはじめアジア新興国等の経済動向や欧米の政策動向による海外経済の不確実性、金融資本市場の変動の影響により、景気の先行きは依然として不透明な状態が続いております。

このような事業環境のもと、当社グループは、将来の成長戦略を見据えた上で、前期にRIZAPグループ株式会社と資本提携契約を締結し、第三者割当により新株式を発行し、RIZAPグループ株式会社のグループ会社の一員となりました。グループイン後は、親会社であるRIZAPグループ株式会社のサポートのもと、抜本的な構造改革の実施やグループ間での人事交流など成長のための様々な取り組みをスピード感をもって進めてまいりました。

当第1四半期連結累計期間の連結業績は、既存事業につきましては、回復傾向がみられましたが、平成29年6月に新設いたしました馬里邑事業部の在庫圧縮施策の影響で、売上高16億64百万円（前年同四半期比1.9%減）、営業損失は27百万円（前年同四半期は営業損失8百万円）、経常損失は15百万円（前年同四半期は経常損失20百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は22百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失26百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

和装事業は、百貨店事業は店舗閉鎖や市況悪化により低調に推移、専門店事業も企画催事の不振により売上高が減少しました。また和装小物の取引先の絞り込みもあり減収となりました。しかしながら前期より進めてまいりました構造改革の取り組み効果が顕在化し、黒字転換を果たしました。

この結果、売上高3億76百万円（前年同四半期比19.5%減）、営業利益は6百万円（前年同四半期は営業損失20百万円）となりました。

寝装事業は、ギフト販売は順調に推移し、売上を拡大いたしました。マットレス等の寝装分野が量販店、専門店ともに減収となりました。

この結果、売上高1億34百万円（前年同四半期比5.4%減）、営業利益は5百万円（前年同四半期比14.4%減）となりました。

洋装事業は、アパレル事業部が百貨店における催事販売を新規に取り組んだ結果、売上、営業利益とも、20%以上の伸びを示しました。しかしながら平成29年6月に新設いたしました馬里邑事業部の前期秋冬商品の販売不振による在庫過多の影響で、当期夏物の仕入調整を行い、キャリア商品のみでの展開を図った結果、大幅に収益が悪化いたしました。

この結果、売上高6億32百万円（前年同四半期比6.8%増）、営業損失は27百万円（前年同四半期は営業利益32百万円）となりました。

意匠燃糸事業は、国内事業が国内大手取引先への売上が堅調に推移したことに加えて、中国事業においては、欧州向けの取引は減少いたしました。中国国内向け、日本市場向けが大幅に伸び、構造改革による固定圧縮の効果もあり、増収及び10%以上の増益となりました。

この結果、売上高5億20百万円（前年同四半期比5.3%増）、営業利益は32百万円（前年同四半期比12.6%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は55億23百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億5百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が1億44百万円増加し、受取手形及び売掛金が2億84百万円、商品及び製品が1億31百万円減少したことによるものであります。固定資産は5億21百万円となり、前連結会計年度末に比べ9百万円減少いたしました。これは主に投資有価証券が3百万円、敷金保証金が1百万円減少したことによるものです。

この結果、総資産は60億45百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億15百万円減少いたしました。

## (負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は13億5百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億65百万円減少いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が1億76百万円、電子記録債務が30百万円減少したことによるものであります。固定負債は36百万円となり、前連結会計年度末に比べ1百万円減少いたしました。これは主に長期繰延税金負債が1百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は13億42百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億67百万円減少いたしました。

## (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は47億2百万円となり、前連結会計年度末に比べ47百万円減少いたしました。これは主に四半期純損失22百万円及び剰余金の配当19百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は77.8%（前連結会計年度末は74.7%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年3月期の連結業績予想につきましては、前回（平成30年5月14日付「平成30年3月期決算短信」にて公表しております。）の内容から変更はありません。

今後、業績予想に変更等の必要が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

なお、業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成しておりますが、実際の数値は今後様々な要因により予想数値と異なる結果になる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,076,959	2,221,095
受取手形及び売掛金	1,501,911	1,216,933
電子記録債権	224,535	223,523
商品及び製品	1,879,291	1,747,388
仕掛品	8,816	9,311
原材料及び貯蔵品	48,360	43,265
その他	104,186	76,200
貸倒引当金	△14,608	△13,986
流動資産合計	5,829,452	5,523,730
固定資産		
有形固定資産	335,524	334,786
無形固定資産	20,602	18,553
投資その他の資産		
その他	228,152	218,864
貸倒引当金	△53,033	△50,867
投資その他の資産合計	175,118	167,996
固定資産合計	531,245	521,336
資産合計	6,360,697	6,045,067
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	884,611	708,367
電子記録債務	369,096	338,556
未払法人税等	24,967	14,846
賞与引当金	27,000	30,650
返品調整引当金	40,715	31,320
その他	225,338	182,255
流動負債合計	1,571,728	1,305,995
固定負債		
その他	38,740	36,802
固定負債合計	38,740	36,802
負債合計	1,610,469	1,342,797
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,937,570	2,937,570
資本剰余金	1,236,152	1,236,152
利益剰余金	917,809	875,235
自己株式	△389,570	△389,570
株主資本合計	4,701,960	4,659,387
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	32,577	30,073
為替換算調整勘定	15,690	12,808
その他の包括利益累計額合計	48,267	42,882
純資産合計	4,750,228	4,702,269
負債純資産合計	6,360,697	6,045,067

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
売上高	1,696,374	1,664,023
売上原価	1,146,850	1,173,382
売上総利益	549,523	490,641
販売費及び一般管理費	558,504	517,770
営業損失(△)	△8,980	△27,129
営業外収益		
受取利息	343	1,024
受取配当金	1,394	683
為替差益	—	7,205
受取賃貸料	4,080	2,800
その他	315	2,385
営業外収益合計	6,133	14,099
営業外費用		
支払利息	882	356
手形売却損	571	434
為替差損	35	—
賃貸費用	2,327	692
株式交付費	9,450	—
その他	4,536	528
営業外費用合計	17,803	2,012
経常損失(△)	△20,650	△15,041
特別利益		
関係会社株式売却益	25,642	—
特別利益合計	25,642	—
特別損失		
構造改革費用	28,279	—
特別損失合計	28,279	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△23,287	△15,041
法人税、住民税及び事業税	3,154	7,846
法人税等調整額	0	—
法人税等合計	3,154	7,846
四半期純損失(△)	△26,441	△22,888
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△26,441	△22,888

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
四半期純損失(△)	△26,441	△22,888
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	10,052	△2,503
為替換算調整勘定	△2,132	△2,881
その他の包括利益合計	7,919	△5,385
四半期包括利益	△18,521	△28,273
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△18,521	△28,273

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	和装事業	寝装事業	洋装事業	意匠燃糸事業	計		
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	467,624	142,084	591,934	494,731	1,696,374	-	1,696,374
(2) セグメント間の内 部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	467,624	142,084	591,934	494,731	1,696,374	-	1,696,374
セグメント利益 (又はセグメント損 失(△))	△20,782	6,072	32,850	28,667	46,808	△55,788	△8,980

(注) 1. セグメント利益の調整額△55,788千円には、セグメント間取引消去12,187千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△67,976千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理部門経費であります。

2. セグメント利益(又はセグメント損失(△))は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と一致しております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	和装事業	寝装事業	洋装事業	意匠燃糸事業	計		
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	376,637	134,395	632,107	520,882	1,664,023	-	1,664,023
(2) セグメント間の内 部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	376,637	134,395	632,107	520,882	1,664,023	-	1,664,023
セグメント利益 (又はセグメント損 失(△))	6,062	5,197	△27,728	32,287	15,819	△42,948	△27,129

(注) 1. セグメント利益の調整額△42,948千円には、セグメント間取引消去12,334千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△55,282千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理部門経費であります。

2. セグメント利益(又はセグメント損失(△))は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と一致しております。